日仏美術学会会報　第 40 号
BULLETIN DE LA SOCIETE FRANCO-JAPONAISE
D'ART ET D'ARCHEOLOGIE Nº 40（2020）

2021 年 11 月 30 日発行
発行人：日仏美術学会
編集発行者：浅野春男

論文

アルベール・ベナールによるパリ一区庁舎装飾画連作
——人生の諸段階の主題と共和国の寓意／原田佳織 … 3
15 世紀前半のストラスブールにおける野人のタピスリー
——《野人とムーア人》の図像分析を中心に／髙木麻紀子 … 27
「子どものような眼」の探求
——ジャン・デュビュッフェにおける原初的なもの（プリミティフ）への志向／小寺里枝 … 51
カミーユ・ピサロ作《小川に足を浸ける女》に関する考察
——自然回帰思想からの影響と画家の芸術理念を中心に——／深尾茅奈美 … 69
画家エレオノール・エスカリエのセーヴル製作所における共同制作
——19 世紀後半の産業 / 装飾芸術振興運動の観点から／志水圭歩 … 91
ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー《ソドムの大火》の生成
——三度のサロン出品と作品改変を手がかりに／中村萌恵 …111

シンポジウム

国際シンポジウム「西洋美術におけるユートピアの表象」 …129
プログラム …129
国際シンポジウム「西洋美術に於けるユートピアの表象」報告／永井隆則 …131
天国、地獄、そして別世界：古代末期のユーラシア美術におけるユートピア／ヤシュ・エルスナー …133
プッサンにおけるユートピアの表象——「アルカディア」から後期風景画まで／倉持充希 …135
つかのまのユートピアとしての雅宴画とその系譜／吉田朋子 …136
エコーとしてのユートピア、意匠（意図）としてのユートピア——ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの牧歌的イメージ／エメ・ブラウン・プライス …137

例会発表要旨

第 157 回例会：現実とイメージのはざま：19 世紀における素描と写真の変容
1850 年代フランスにおける「芸術写真家」像の形成とその戦略
——ギュスターヴ・ル・グレの海景写真の連作と同時代美術の関係から／鈴木実香子 …139
フランス人画家と素描が捉えた日本——ボワボードランに学んだフェリックス・レガメとジョルジュ・ビゴーの分析——／上田あゆみ …140

第 158 回・第 159 回合同例会
第 1 部：19 世紀における宗教美術 …142
ドラクロワ作《キリストの埋葬（墓のキリスト）》（ボストン美術館）
――宗教画制作を通じた表現の刷新の手がかりとして――／西嶋亜美 …142
現前する身体と「とりなし」の像：
聖ヴァンサン・ド・ポールの銀製聖遺物容器（1827）と全身像（1830）について／請田義人 …143
第 2 部：19 世紀絵画における人間表象 …144
ギュスターヴ・クールベの初期画業における女性表象
――その理想主義的傾向を巡って／天王寺谷千裕 …144

学会消息 …146
日仏美術学会定款 …149
常任委員会および事務局 …150
日仏美術学会入会のご案内 …151
投稿規定等 …152
編集後記 …156